



新 栄 だ よ り



視 覚 と 心 の 目



▲富山市中央通りギャラリー・ミレー展示室

その空間に入った瞬間、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）とは違う感覚で感動しました。何か心地良い重圧感があり、一瞬時間が止まったような感覚になります。



視 覚 と 明 か り

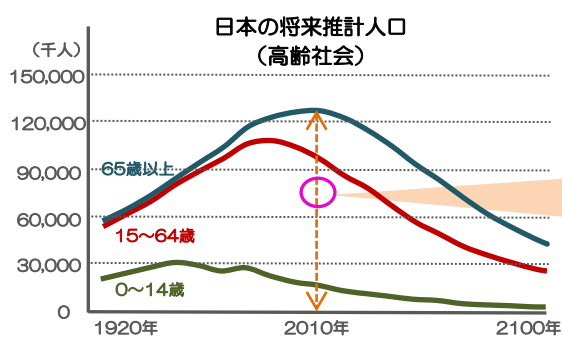
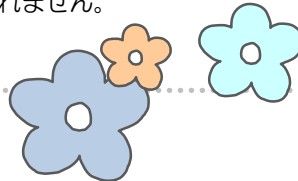
年配のお客様から「最近暗いので照明を明るくしてほしい」というご要望があります。

3.11東日本大震災以降、節電が叫ばれ、街の照明が暗くなりました。公共施設やショッピングセンターに行くと、「節電中」と表示してある光景をよく目にします。また、周りのサインが見えにくく感じることがあります。このような節電が比較的若い世代の判断だけで決定され、問題が無いとされたのであれば、高齢者に負担を強いている可能性があります。

ますます高齢化社会が進行する中で、目の障害である老眼（正式名称：老視）は、加齢により水晶体の弾性が失われて調節力が弱まり、近くのものに焦点を合わせることが出来なくなります。40代から60代初めに自覚されることが多いのですが、実際には20歳前後から調節力の減少が始まっています。比較的明るい場所ではそれなりに見えますが、暗い場所では、近距離の場合にも特有の見づらい傾向が強くなります。

これからの日本は節電が必要ですし、我慢しなくてはならない時はありますが、あらゆる世代の方に安全に効率良く過ごして頂くために一層工夫が必要かもしれません。

（工事部・上沢）



2010年10月1日の日本の総人口は
1億2,805万7,352人

↓
そのうち40歳以上の方は
7,169万8,000人 で

全人口の約56%を占めています

このようなさまざまな年齢の方にとっての安全な生活や作業効率を考慮するのであれば、
省エネと節電を組み合わせた取り組みが必要です。



節電とは

電力ピーク時における使用電力を抑制すること。必要な電力使用を我慢しなければならないので、快適性が犠牲になる場合もあります。短期的にはエネルギーコストは下がりますが、長続きしない可能もあります。

- 例
- ・設定照度の見直し
 - ・共用部の間引き点灯など



省エネとは

エネルギーを効率的に使い、エネルギー使用量を抑制すること。我慢を強いることではないため、快適性が犠牲になることはありません。初期投資が必要ですが、永続的にエネルギーコストを下げるすることができます。

- 例
- ・照明器具のLED化
 - ・人感センサーとの連動制御など



ご存知ですか？照明器具の寿命

照明器具にも寿命があります。一般的には適正交換時期は8年～10年と言われています。省エネ効果があるのはLEDですが、長期間使用した蛍光灯照明器具にそのまま直管LEDランプを装着し、さらに長期間使用すると部品は更に劣化します。

10年以上使用した照明器具……劣化が進んでいます



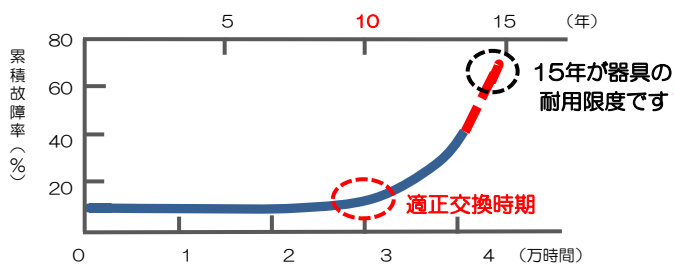
▲劣化が進んだ安定器



▲劣化が進んだソケット

- 電気部品は長期間の使用により、照明器具が劣化してきて寿命末期となります。
- 器具反射板などの変色により反射率が下がってきます。
- 長寿命のLEDランプへの交換で、劣化した電気部品を更に長期間使用すれば劣化が進み危険です。

長期間使用した蛍光灯照明器具は、ランプだけを直管LEDランプに交換するのではなく、照明器具も新しく交換しましょう。



表：JIS C8105-1「照明器具 第1部：安全性要求事項通則」より抜粋

（工事部・大山）

安全のために
照明器具全体を交換してくださいね

照明器具のメンテナンスについて

毎日使う照明器具。知らず知らずのうちに汚れが付き、明るさが低下しています。1年間掃除をしないと、明るさは約20%低下してしまいます。またキッチンなどの汚れがひどい場所の場合は、明るさの低下は約40%とも言われています。ランプの汚れ自体はもちろん、カバー・セード（かさ）の部分も汚れが付いたままでは明るさに影響が出てしまいます。

そこで主な照明器具のカバー・セードの取外・取付方法をご紹介します。
大掃除には照明器具も丁寧に掃除して、明るさを取り戻して電気代節約につなげましょう！

※雑巾を使うときは電球や蛍光灯をはずしましょう。

※取付けるときは危険防止のため、よく乾かしてから取付けましょう。

取外方法



丸型シーリングライト



左に回転させる



カバーを本体から外す



ポーチ灯



カバーを両手で支え
左へ回す



カバーを本体から外す



和風蛍光灯ペンダント



天板を留めている
全ての回転金具を回す



器具から天板を取外す

取付方法



持ち上げる



パチンと音がするまで
右へ確実に回転させる



カバーをねじ切り溝
に合わせる



カバーを両手で
右へ回して固定する



カバーに合わせて天板を置く



器具上面にある全ての
回転金具を回し、
天板を固定する。

写真：パナソニック電工資料より抜粋

（資材課・沢崎）

★お客様紹介★

ルシーダタワー1階 美術館「ギャルリ・ミレー」

24年9月、北陸銀行様は富山市中央通りの再開発ビル、ルシーダタワーの1階に美術館「ギャルリ・ミレー」を開設されました。

「ギャルリ・ミレー」には、ミレー、コロー、ドービニー、デュプレなどバルビゾン派の作品や写実主義のクールベの作品などが展示されています。

当社は「ギャルリ・ミレー」にかかる照明の全てを工事させて頂きました。作品展示の照明は、関係者の皆さんが多くの美術館を参考に、作品が最も美しく見えるようにと配慮されました。また、訪れたお客様がゆっくり落ち着いた鑑賞できるように、展示室全体の照明にもこだわりを持たれ、別世界にいるような雰囲気が出されています。

当社も今回の工事をさせて頂くことで、美術館の照明について貴重な経験をさせて頂いたと感謝しております。

「新栄だより」の読者各位も、地元で身近に名画を鑑賞できる「ギャルリ・ミレー」へ気軽に立ち寄ってみてください。作品はもちろん、当社の照明で照らし出された館内の雰囲気も素敵ですよ。

なお、休館日は月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日、年末年始（12/28～1/2）となっています。入館料は一般が200円、高校生等が100円、中学生以下は無料です。



▲入口受付。ミレーの写真が掛けられています。



▲椅子はフランスのオルセー美術館と同じデザイナーのもので、日本人の吉岡徳仁さんのデザインです。とても座り心地が良いです。

（営業企画部・小林）

雄峰高校 東・北校舎新築電気設備工事

23年11月から1年間にわたり、雄峰高校 東・北校舎新築電気設備工事を担当しています。新校舎は、現在の富山市赤江町から移転し、神通町の旧愛宕小学校跡地で建築中です。

当社は、生涯学習センターや調理・被服等専門課程のある「東校舎棟」、事務室、一般教室エリアの「北校舎棟」を担当させていただいています。新校舎の特色として、昨今の「省エネ」「省資源」に向けて、職員室・事務室の照明の制御に人感調光センサーが採用され、人が不在の際の点灯は最小限に抑えられています。

4月から入学される学生さんたちに快適に学生生活を送っていただくために、現在最終の仕上げ工事に頑張っています。



▲校舎外観です



▲鳥瞰パースです



▲ブロムナードは、学生さんの交流・憩いの場となって楽しい思い出づくりに役立つと思います。



（工事部・中川）

当社近況報告

営業・企画部

当社では平成11年に「ISO9001」の認証を取得して以来、年に2回のサーベランスを行い適合の確認をしております。

10年以上続けている審査では、改善の種を見つけるべく、審査官と友好的に対話を繰り返し広げております。先日（12月開催）のサーベランスでは、人材の育成や、適正な人員配置・各種情報の共有などについて、改善のスパイラルアップを図る為のヒントをいただきました。

今後お客様に満足していただける品質を確保する為に、ISO9001の品質基準に基づき改善を続けてまいりますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

（営業企画部・清水）

総務部



▲折鶴蘭（おりづるらん）
花言葉「守り抜く愛」



▲スパティフィラム
花言葉「爽快・壮快」

10年前に、総務課吉原課長の奥様から会社にと譲り受けたものです。

「スパティフィラム」は毎年やさしい香りの花を咲かせ、社員の癒しとなっています。

（総務課・酒井）

簡単レシピ

旬の大根を使った簡単レシピのご紹介です♪



材料 4人分

大根	1本	★煮汁	
鶏もも肉	1枚	だし汁	300cc
ショウガ	1片	砂糖	大さじ1.5
ねぎ	1/2本	酒	大さじ1.5
		みりん	大さじ1.5
		しょうゆ	大さじ1.5

- ① 大根、鶏もも肉を1口大に切る。ショウガは薄く切る。
- ② 煮汁を沸騰させて、材料を入れる。
- ③ 全体が沸騰してきたらアクをとり、火力を1にして10分煮込む。
- ④ そのあと保温にして、10分～15分味を染みこませる。
- ⑤ ねぎをのせて出来上がり！

社長よりご挨拶

今年も余す所、僅かとなりました。

今年は原子力発電の問題が政治の世界でも大きな政策の一つとなり、国民の関心を高めています。脱原発や卒原発など色々な意見がありますが、現実の電力会社の中間決算は火力発電の燃料がコストに反映して、各社大幅な赤字決算を公表しています。電力料金の値上げは必至となっています。今後は生産工場の更なる海外移転や、家計の負担が一層大きくなり、景気がさらに悪化し、雇用面での影響が危惧されています。

このような情勢の中で、私達は省エネについて、真剣に取り組む時期が来たと思います。当社は新年もLED照明や省エネについて提案して参りたいと思います。

本誌のご愛読各位のご健勝を祈念して、vol.8号発刊のご挨拶と致します。

新年もよろしくお願い致します。

（代表取締役社長・清田）

発行元

株式会社新栄電設

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL：076-491-5113 FAX：076-491-5118

（編集・校正：小林・清水・上沢・沢崎・酒井・中川・大山・西沢）

今年もご愛読頂きありがとうございました。来年も皆様にとって良い年でありますよう、心よりお祈り致します。